

御岳百景

第23号 雅楽が聴こえる集落



静かな集落に時折響く、「楽(がく)」の音を聞いたことはありますか？

その音は少し離れた富士峰園地に届くことも。

これは神主の奏でる「楽」の音色です。「雅楽」とは、日本固有の古楽で、使用する

器楽は和琴、中国や朝鮮から渡ってきた笙(しょう)、箏(ひちりき)、笛などの管楽器、羯鼓(かっこ)、太鼓、鉦鼓(しょうこ)で奏でられます。御岳山山頂に位置する武蔵御嶽神社で執り行われる祭事などに合わせ奏でられたり、神主が練習していたり…祭事であれば重奏、練習であればひとつの音色とその時々で音色が異なりますが、どれも集落を雅な装いにさせます。楽の音が聞こえると、神主が暮らす集落だと改めて実感します。

特にひとつの音色を生で聞くのは、かなりのレアな出会い。

そして誰かに共有したくてもなかなか伝えづらいこの出会い。

この先もずっと出会いたい景色です。

そんな御岳山ならではの“雅楽が聞こえる集落”を御岳百景に認定します。



御岳山でちょい



知られざる御岳山の名木

“ちょい”とは御岳山の方言で“休憩する”という意味♪

御岳山は武蔵御嶽神社があることで守られている自然も多く、たくさんの巨樹や名木が残っています。今回はあまり知られていない、御岳山集落内にある「知られざる名木」をご紹介します！”ちょい”と寄り道して、名木を眺めてみませんか？

金井家のトチノキ



樹高34m
幹囲4.9m

このトチノキは御師の金井家の敷地内にあり、集落の中でも存在感があります。大きさは青梅市内最大。ムササビが巣穴として使っていたこともあるんです！

私有地内にありますので、神社へ向かう裏参道からご覧ください♪

鳥居前広場から階段を上った随神門の脇に、小説「大菩薩峠」の記念碑もあるんですよ！



小説 大菩薩峠記念碑

龍之介の松



樹高11m
幹囲2m

武蔵御嶽神社に上がる途中の鳥居前広場にあるアカマツ。神社に上がるには必ず通る場所です。中里介山の大長編小説「大菩薩峠」の主人公「机龍之介」にちなんでこの名がついたんだとか。

どちらも案内板など出ていないので、まさに知られざる名木！ぜひ見つけてみてくださいね。



刊行東京都御岳ビジターセンター「木もれび」 2025年春号 vol.23

東京都御岳ビジターセンター自然解説員作成 2025年3月発行

所在地：〒198-0175 東京都青梅市御岳山38-5

TEL 0428-78-9363 FAX 0428-78-9445

開館(9:00～16:30) 休館(月曜日 ※祝日の場合は翌日)



バックナンバーは
こちらから♪

東京都御岳ビジターセンター発行(年2回)

御岳ビジターセンターが照らす…

木もれび

vol.

23

2025
春号刊行

特集

ムササビの

御岳山に暮らすアイドル！／

あんなこと・こんなこと

▼御岳百景
「雅楽の聴こえる集落」

▼御岳山でちょい
「知られざる名木」

御岳山には

ムササビがいる。

御岳山に暮らしているムササビ。いったいどんな生きものなのでしょう？ 今回の木もれびはムササビ特集！ムササビがこの先もずっと御岳山に暮らし続けてくれますように… 皆さんにムササビのことをご紹介♪

御岳山で！ムササビに会いたい！

御岳山のアイドルと言っても過言ではない！？
ムササビのあんなこと・こんなことをご紹介します！

〔学名〕*Petaurista leucogenys*
〔英名〕Japanese giant flying squirrel

空飛ぶ「座布団」
日本のリス科最大種であり、小さいネコくらいの大きさがある。移動するため飛膜を広げて滑空する姿はまさに座布団！

頬の白い模様が特徴
目と耳の間に白い帯模様がある。のでホオジロムササビという和名でも呼ばれている。



後ろ脚から尾にかけて飛膜を持つのもムササビの特徴

日本の固有種！
ムササビは日本の固有種。本州から九州にかけて広く分布しているため、行く先々でムササビを探すことが出来る！

フィールドサイン



ムササビの食べ跡はかなり特徴的！

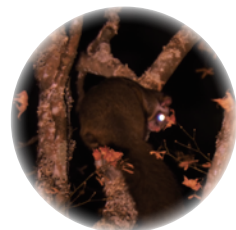


冬眠しない！

ムササビは冬眠しないので1年中活動している。雪の日も、雨の日も森の中を移動している。

闇夜に響く声は妖怪？！

主に「グルルルルー」と巻き舌を使ったような大きな声で鳴くことが多い。その声はまるで妖怪？！



樹上で生活

一生のほとんどを木の上で暮らす。地上にはテンやキツネなどの肉食動物がいるため、より安全な木の上で暮らすことを選んだ。

ムササビが暮らすことができる大きな木はあるかな？
御岳山はご神木になる大きな木がたくさんあるので暮らしやすそう

巣穴はもちろん御岳山は巣箱がいくつもあつて、使っていそうかチェック！

小さなフンは真ん丸！



御岳ムサのごはん

ムササビは1年を通して主に樹上の植物を食べて暮らしている。夜行性のためなかなか食事姿を見ることはないが、食べ残した食痕を探すと、今のムササビの旬なごはんが見えてくる。御岳山のムササビが特に好きなものをご紹介します！

春	夏	秋	冬
 ヤマザクラ	 ミズナラ	 カエデ	 スギ (コブ)
 ブナ	 ミズキ	 カヤ	 スギ

春はサクラやブナなどの花の部分が好み♡

ミズナラやミズキの葉が良いみたい！真夏の葉は硬そうだね。

実りの秋。カエデやカヤの種やクリの実などをべろり！

ごはんが少なくて困る…と思いきやスギのコブや種をむしゃむしゃ！

御岳ムサ出合いのポイント

まずは情報収集！

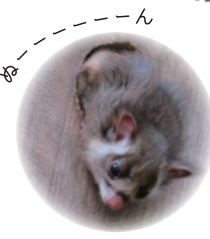
ビジターセンターでは、御岳山のムササビの様子を日々記録をしている。御岳山でムササビを探すときはぜひビジターセンターで巣箱の場所や最新情報を仕入れよう！ムササビ観察のマナーのお話も聞いてね。

恋の季節が狙いめ！

1年中活動しているが、5月頃と12月頃の恋の季節は行動が活発！とくに12月は木々も落葉して観察しやすい（寒いけど…）

巣箱からの顔出し♡

御岳山内にはビジターセンターや宿坊の方が設置したムササビの巣箱があちこちにある。基本は夜行性だが、気になることがあると顔をひょこっと！



ムササビに出会う準備

日中の下見は大切

夜行性なので観察は夜だが、ムササビに出会うためには日中の下見も大切！食痕などの痕跡を探すことで、出会う確率が上がる。

赤いライトを使おう

驚かせないように赤いライトを使用すると良い。（赤いフィルムを貼ったり、ライトの表面を赤く塗り赤い光が出るように）また、ムササビに直接ライトの光を当てないなどして優しい気持ちで観察しよう。

まずは耳で探そう

ムササビの声などの活動音を聞き逃さないのがコツ！最初はライトは使わずに、鳴き声や葉の揺れる音、移動する音などを耳で聞いて探してみよう。

Youtubeでムサ動画！



御岳山のムササビは豊かな自然環境の中で、集落では巣箱などを利用して暮らしています。

ムササビがずっと御岳山で暮らせるよう、環境を守りつつ、観察マナーを守ってムササビに親しましましょう♪